

提案書の目次		提案要求事項 (評価の観点)	評価 区分	得点配分			評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	小項目			合計	基礎 点 (必須)	加 点 (任意)	基礎点 (必須)	加点 (任意) ※カッコ内の点数は各評価基準の加点幅		
1 事業の目的【実施要項2(1)に該当】										
		事業の目的及び内容を適切に把握できているか	必須	4	1	3	事業の目的、内容及び実施上の留意点が記載されているか(1点)	・事業の目的、内容及び実施上の留意点が適切か(最高3点)	1	
2 研究者の募集と選定【実施要項2(2)⑥に該当】										
	(1)研究者の募集	事業の目的及び内容に沿った研究者を広く募集できるか	必須	5	1	4	特別研究者及び派遣研究者を募集する対象機関並びに招へい研究者を募集する対象機関が記載されているか(1点)	・特別研究者及び派遣研究者を募集する対象機関、募集方法及び募集規模が適切か(最高2点) ・招へい研究者を募集する対象機関、募集方法及び募集規模が適切か(最高2点)	2	
	(2)研究者の選定	事業の目的及び内容に沿った研究者を適切に選定できるか	必須	5	1	4	研究者を選定する方法が記載されているか(1点)	・研究者を選定する方法が適切か(最高2点) ・選定委員会の委員の構成(案)が適切か(最高2点)	3	
3 研究テーマ及び研究計画の設定【実施要項2(2)⑦に該当】										
	(1)研究テーマ及び研究計画の設定	事業の目的及び内容に沿ったテーマ及び研究計画を設定できるか	必須	3	1	2	研究者とともに研究テーマ及び研究計画を設定する方法が記載されているか(1点)	・研究者とともに研究テーマ及び研究計画を設定する方法が適切か(最高2点)	4	
4 受入準備【実施要項2(2)⑧に該当】										
	(1)受入準備	特別研究者の事業目的及び内容に沿った研究の準備ができるか	必須	5	1	4	特別研究者のために確保する研究環境が記載されているか(1点)	・特別研究者と契約する事項及び内容が適切か(最高2点) ・特別研究者のために確保する研究環境が適切か(最高2点)	5	
		招へい研究者の事業目的及び内容に沿った研究の準備ができるか	必須	8	1	7	招へい研究者のために確保する研究環境が記載されているか(1点)	・招へい研究者と契約する事項及び内容が適切か(最高2点) ・招へい研究者のために確保する研究環境が適切か(最高2点) ・招へい研究者に対する受入支援の内容及び方法が適切か(最高3点)	6	
5 派遣準備【実施要項2(2)⑨に該当】										
	(1)派遣準備	派遣研究者の事業目的及び内容に沿った研究の準備ができるか	必須	12	1	11	以下の事項がすべて記載されているか(1点) ・派遣機関との研究環境についての調整の内容及び方法 ・派遣研究者の所在確認、及び研究者の安全確認を行うための方法	・派遣研究者と契約する事項及び内容が適切か(最高2点) ・派遣機関との研究環境についての調整の内容及び方法が適切か(最高3点) ・派遣研究者に対する派遣支援の内容及び方法が適切か(最高3点) ・派遣研究者の所在確認、及び派遣研究者の安全確認を行うための方法が適切か(最高3点)	7	

提案書の目次		提案要求事項 (評価の観点)	評価 区分	得点配分			評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	小項目			合計	基礎 点 (必須)	加 点 (任意)	基礎点 (必須)	加点 (任意) ※カッコ内の点数は各評価基準の加点幅		
6 研究期間中の業務【実施要項2(2)⑩に該当】										
(3)研究期間中の業務		事業の目的及び内容に沿った適切な支援・指導及び管理業務を行うことができるか	必須	13	1	12	以下の事項がすべて記載されているか(1点) ・特別研究者に助言、指導、知見を有する者の紹介、資料の提供等を行うことができる体制 ・特別研究者に助言、指導を行える研究者が在籍しているか ・特別研究者の研究の進捗管理及び特別研究者の健康管理の内容及び方法	・特別研究者に助言、指導、適切な知見を有する者の紹介、資料の提供等をする体制及び方法が適切か(最高3点)	8	
							以下の事項がすべて記載されているか(1点) ・派遣研究者に助言、指導、知見を有する者の紹介、資料の提供等を行うことができる体制 ・派遣研究者に助言、指導を行える研究者が在籍しているか ・派遣研究者の研究の進捗管理及び派遣研究者の健康管理の内容及び方法	・特別研究者に助言、指導を行える研究者が在籍しているか(最高3点) ・特別研究者の他の機関への訪問、講演会への参加のための調整の内容及び方法が適切か(最高2点) ・特別研究者の研究の進捗管理及び特別研究者の健康管理の内容及び方法が適切か(最高2点) ・特別研究者の指導者の選定及び指導者による指導の方法が適切か(2点)		
							以下の事項がすべて記載されているか(1点) ・招へい研究者に助言、指導、知見を有する者の紹介、資料の提供等を行うことができる体制 ・招へい研究者に助言、指導を行える研究者が在籍しているか ・招へい研究の進捗管理及び招へい研究者の健康管理の内容及び方法	・派遣研究者に助言、指導、適切な知見を有する者の紹介、資料の提供等をする体制及び方法が適切か(最高3点) ・派遣研究者に助言、指導を行える研究者が在籍しているか(最高3点) ・派遣研究者の研究の進捗管理及び派遣研究者の健康管理の内容及び方法が適切か(最高2点) ・派遣研究者の指導者の選定及び指導者による指導の方法が適切か(2点)		
7. 研究成果の報告会及び報告書【実施要項2(2)⑪⑫に該当】										
(1)研究成果の報告会の開催		研究成果を広く一般に周知することができるか	必須	7	1	6	中間報告会及び研究成果報告会の内容及び開催方法が記載されているか(1点)	・中間報告会及び研究成果報告会の内容及び開催方法が適切か(最高3点) ・中間報告会及び研究成果報告会の開催の周知方法及び規模が適切か(最高3点)	11	

	(2)研究成果報告書の作成	研究テーマ及び研究計画に沿った内容の研究成果報告書を作成することができるか	必須	9	1	8	研究成果報告書の形式及び内容に不備がないことを確認する方法が記載されているか(1点)	・研究成果報告書の作成方法が適切か(最高2点)	12	
								・著作権処理の方法が適切か(最高2点)		
								・研究成果報告書の形式及び内容に不備がないことを確認する方法が適切か(最高2点)		
								・査読の方法が適切か(最高2点)		
8 事業実施計画【実施要項3.に該当】										
	(1)事業実施計画	事業を事業期間内に完了することができるか	必須	7	1	6	・事業が事業期間内に完了する実施スケジュールが記載されているか(1点)	・実施スケジュールが適切か(最高3点)	13	
								・実施スケジュールを実行するための作業手順が適切か(最高3点)		

提案書の目次		提案要求事項 (評価の観点)	評価 区分	得点配分			評価基準		雛形 頁番号	提案書 頁番号
大項目	小項目			合計	基礎 点 (必須)	加 点 (任意)	基礎点 (必須)	加点 (任意) ※カッコ内の点数は各評価基準の加点幅		
9 事業実施体制										
(1) 事業実施体制及び役割分担	実施体制及び事業従事者予定者の業務分担・業務量が適切か	必須	28	1	27	・事業の実施体制及び事業従事者予定者の業務分担・業務量が記載されているか(1点)	・事業の実施体制が適切か(最高5点)	14		
							・事業従事者全体が行う業務が具体的かつ適切か(最高6点)			
							・事業従事者予定者の業務の分担が適切か(最高5点)			
(2) 組織としての専門性、類似事業実績	応札者が事業に係る業務に関する知見・ノウハウを有しているか	必須	6	1	5	・応札者が有する産業財産権制度の研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・ノウハウが記載されているか(1点)	・応札者が有する産業財産権制度の研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・ノウハウがあるか(最高5点)	15		
	応札者が類似事業に係る業務に関する知見・実績を有しているか	任意	10	-	10		・応札者が有する産業財産権に係る業務に関する知見・実績があるか(最高5点) ・応札者が有する研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・実績があるか(最高5点)	16		
(3) 事業従事者予定者の専門性、類似調査実績	事業従事者予定者が事業に係る業務に関する知見・ノウハウを有しているか	必須	6	1	5	・事業従事者予定者が有する産業財産権制度の研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・経験ノウハウが記載されているか(1点)	・事業従事者予定者が有する産業財産権制度の研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・ノウハウがあるか(最高5点)	17		
	事業従事者間で事業に係る業務に関する知見・ノウハウが共有されているか	任意	5	-	5		・事業従事者間で産業財産権制度の研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・ノウハウを共有する体制があるか(最高5点)	18		
	事業従事者予定者が類似事業に係る業務に関する知見・実績を有しているか	任意	10	-	10		・事業従事者予定者が有する産業財産権に係る業務に関する知見・実績があるか(最高5点) ・事業従事者予定者が有する研究を行う博士相当者の支援・指導及び管理に関する知見・実績があるか(最高5点)	19		

(4)事業実施のための基盤	応札者が事業を実施するために必要な財務基盤、研究環境及び経理処理能力を有しているか	必須	17	1	16	・ 応札者が有する財務基盤、研究設備及び経理処理能力が記載されているか(1点)	・ 応札者が事業を実施するために必要な財務基盤を有しているか(最高5点)	20	
							・ 応札者が事業を実施するために必要な研究環境を有しているか(最高6点)		
							・ 応札者が事業を実施するために必要な経理処理能力を有しているか(最高5点)		
(5)人材管理体制	応札者が事業を実施するために必要な人材管理能力を有しているか	必須	6	1	5	・ 事業実施のための、事業従事予定者の管理方法が記載されているか(1点)	・ 事業実施のための、事業従事予定者の管理方法が適切か(最高5点)	21	
	応札者が事業従事予定者を本事業に意欲的に取り組ませるための体制及び方法を有しているか	任意	6	-	6		・ 事業従事予定者を事業に意欲的に取り組ませるための体制及び方法が適切か(最高6点)	22	
(6)個人情報の管理方法	応札者が事業を実施するために必要な個人情報の管理体制を有しているか	必須	6	1	5	・ 事業についての個人情報の管理体制及び方法が記載されているか(1点)	・ 事業についての個人情報の管理体制及び方法が適切か(最高5点)	23	

第2 添付資料

項目	提出の 要否	内容	雛形 頁番号	提出
10 平成26年度産業財産権研究推進事業の実施にかかる工数	必須	平成26年度、27年度、28年度に分けて、仕様書小項目ごとに、事業従事予定者のクラス(例：主任研究員、研究員等)別の工数(単位は「時間」とする。)の表を作成すること。	24	

第3 遵守事項一覧

項目	遵守の要否	内容	遵守確認
1 1 遵守事項			
(1) 応札者の要件	必須	・当庁から提示された委託契約書及び委託事業事務処理マニュアルに合意すること。	
	必須	・事業に関する委託契約を特許庁と直接締結すること。	
(2) 契約条件	必須	・契約形態は「委託契約」とすること。	
	必須	・事業の実施期間は委託契約締結日から平成28年6月30日までとし、仕様書に定めた事業項目別に定められた期日(年度)までに業務を終了すること。	
	必須	・落札者は、各作業者の工数及び提示した入札価格を計算する際に用いた人件費単価並びに単価の算出根拠資料を、研究者別に単価、工数、金額を各年度別に支出計画書として作成して提出すること。事業費については、費用の種類毎に金額及び積算根拠記載したものを各年度別に支出計画書として作成して提出すること。また、これらの経費の3か年分を費途別に合算した支出計画書(総括表)を別途作成して提出すること。	
	必須	・一般管理費については、受託者の直近の確定済年度の収支計算書と確定前の見込み年度の収支計算書の支出経費総額に占める一般管理費の割合と10%のうち、最も低い率を一般管理費率の上限とし、その率は人件費、或いは直接経費に乘じる額とすることに合意すること。	
	必須	・事業に要した経費は、原則として各年度ごとに確定検査を経た後、精算払いとすることを承知すること。また、各年度毎に精算払を行う際の支払い上限額は、各年度別の支出計画書に記載した支払計画額、並びに各年度毎に定められた国の予算の配賦額の範囲内とすることに合意すること(なお、各年度の支払計画額と支払実績額の差額(残額)は次年度へ繰り越すことができない)。	
	必須	・予算執行上、すべての支出には領収書等の厳格な証明書が必要であり、支出額、支出内容が適切であるかどうかを厳格に審査し、これを満たさない場合には、当該経費の支払いが行えないことを承知すること。	